

# ZEPHYROS

ゼフュロス No.77

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2018年11月20日発行

ISSN1342-8071



国立西洋美術館の  
2018年度収蔵作品について

## 2018年度収蔵作品について

ルカス・クラーナハ（父）《ホロフェルネスの首を持つユディト》



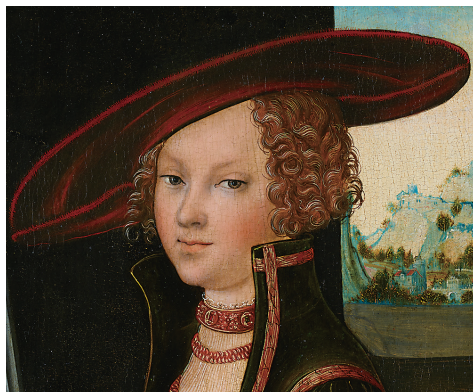
(図1)《ホロフェルネスの首を持つユディト》

国立西洋美術館のコレクションに、ルカス・クラーナハ（父、1472-1553）の《ホロフェルネスの首を持つユディト》（図1）があたらしく仲間入りしました。小ぶりではありますが、簡潔にして緊張感のある構図のなかに、じつにクラーナハラらしい描写が凝縮された板絵で、保存状態や来歴にも恵まれています。しかも「ユディト」は、クラーナハの代名詞ともいべき主題——いわば彼の芸術の「顔」のひとつです。

この画家の名を聞けば、2016-17年に開催された「クラーナハ展—500年後の誘惑」を思いだしてくださる方もおられるかと想像します。そのときには、このたび購入したユディトは来日しませんでした。同展でお借りすることが叶ったのは、ウィーン美術史美術館に所蔵される傑作中の傑作というべき、別のユディトです。そのウィーンの大きなユディトと比べれば、わたしたちの小さなユディトは、規模や質の面で劣ります。けれどもこのユディトは、このユディトにしかない「誘惑」を放っています。

敵将ホロフェルネスを酒に酔わせて斬首し、故郷ベトリアを救ったうつくしき女性——そんな勇敢さと美貌を兼ね備えたユディトは、中世のキリスト教社会においては美徳の象徴でした。しかしクラーナハが描く

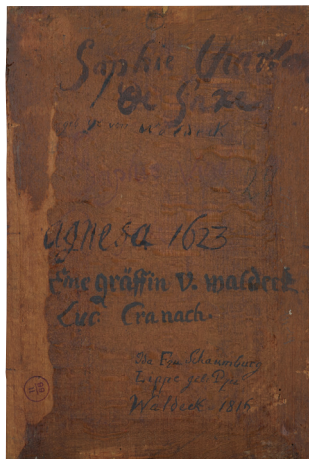
ユディトは、挑発的ともとれる醒めた視線を投げ（図2）、その淡々とした姿には不似あいな装飾に溢れた衣裳をまとっています。とくに、わたしたちのユディトは、いっさいの情動をうちに秘めたように静止し、身じろぐことのない華奢な身体で見る者に対峙します。断末魔のうめきを残した無惨なホロフェルネスの首が、そうしたユディトの醒めた誘惑を不気味に強調するでしょう。



(図2)

クラーナハは、ルターの宗教改革によって知られるドイツのヴェッテンベルクで、16世紀初頭からおよそ半世紀にわたってザクセン選帝侯の宮廷画家を務めました。もともと、それと同時に彼は、自身の工房をシステムティックに組織し、時代に先んじた絵画の大量生産を実現した事業家でもありました。クラーナハの手に帰される単身像のユデイトは、現存するだけで10数点が知られています。ただしそれらのうち、欧米のパブリック・コレクションに属していなかったのは、基本的にこの作品のみです。板の裏面(図3)には、17世紀に遡る過去の持ち主たちの情報が記されており、それらはこの絵画が早くから、ドイツの侯爵家や伯爵家で受け継がれてきたことを物語ります。そして20世紀以降、アメリカやドイツの個人に所有されたのち、今年、国立西洋美術館が購入しました。

このユデイトは、かつてクラーナハによって描



(図3)

かれたとき、まさか自分が500年後に日本という場所に住むことになろうとは想像していなかったはずです。時空を超えるクラーナハの絵画の誘惑を、これから何度でも、当館の常設展で体感していただけたいと思います。

(国立西洋美術館主任研究員 新藤 淳)

**常設展でご覧いただけます。**

**常設展**

一般 500円(400円)

大学生 250円(200円)

\*小・中学生・高校生および18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方および付添者1名は無料  
(入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。)

\* ( )内は20名以上の団体料金

掲載作品はすべて

ルカス・クラーナハ(父)

《ホロフェルネスの首を持つユデイト》

1530年頃 油彩/板

37.2×25cm 国立西洋美術館



## 第1回 松方幸次郎



(図1) エドゥアール・マネ《ブラン氏の肖像》  
1879年頃 油彩/カンヴァス 国立西洋美術館  
松方幸次郎氏御遺族より寄贈 (旧松方コレクション)



(図2) フランク・ブラングイン《松方幸次郎の肖像》  
1916年 油彩/カンヴァス 国立西洋美術館  
松方幸次郎氏御遺族より寄贈 (旧松方コレクション)  
© David Brangwyn

松方幸次郎(1866-1950)は、川崎造船所(現川崎重工業株式会社)の社長にして、1910年代後半から20年代後半にかけてヨーロッパで大量の美術品を収集した、我が国史上最大の美術コレクターのひとりです。西洋美術に限っても約2,700点に及んだ彼の収集品は、昭和の金融恐慌のあおりを受けて散逸しましたが、フランスに留め置かれていた作品群が戦後になって日本に寄贈返還され、それら375点(「松方コレクション」)を保管、展示する施設として、1959年に国立西洋美術館が設立されました。

したがって、西洋美術館の「松方コレクション」は、彼の収集の全体から見ればほんの一部に過ぎません。国内の美術館に限っても、ドガ《マネとマネ夫人像》(北九州市立美術館)、マネ《自画像》(石橋財団ブリヂストン美術館)、モネ《積みむら》(大原美術館)など、多くの松方旧蔵作品が収蔵されています。

当館では、彼の収集活動の全貌に少しでも肉薄すべく、散逸した松方旧蔵作品の収集を続けてきました。当館設立以降、企業やご遺族、関

係者などから譲り受けた松方旧蔵作品は、現在270点以上にのぼります(「旧松方コレクション」)。代表的なものとしては、リッツォス《イコン、神の御座を伴うキリスト昇天》や、マネ《ブラン氏の肖像》(図1)などがあるほか、昨年には、松方のアドバイザーを務めた画家ブラングインが描いた点で重要な《松方幸次郎の肖像》(図2)が御遺族より当館に寄贈されました。また、本誌前号で既報の通り、長らく所在不明であったモネの《睡蓮、柳の反映》がルーヴル美術館の一角でみつき、現在当館で修復中です。

設立60周年に当たる来年に向けて、当館はここ数年間松方の収集に関する調査研究に特に力を入れてきました。第1巻が今年6月刊行された「松方コレクション 西洋美術全作品」カタログの制作と並び、松方の西洋美術収集を顕彰する大展覧会「松方コレクション展」(2019年6月11日〔火〕～9月23日〔月・祝])がその主な成果披露の場となります。松方の美術に対する途方もない情熱の一端を、多くの皆様にお届けしたいと考えています。

(国立西洋美術館主任研究員 川瀬 佑介)

日頃、数多く寄せられている建物に関するご質問にお答えします。

答える人：国立西洋美術館専門職員 福田 京

## Q > 柱の近くにある細い柱はなんですか？

**A** 柱の左側にある細い柱のように見えるものは、実はダクトカバーです。ダクトカバーとは設備配管を目隠しするもので、中には雨水を流す配管などが入っています。

日本家屋のような三角屋根では、雨は屋根の表面をつたって一番低い部分に流れますから、先端に溝型の雨どい(軒樋)がついています。そこから縦型の雨どい(竪樋)で地面まで流すため、樋は屋外についているのが特徴です。

本館の屋根は水平なので、そのように雨水を流すことができません。ル・コルビュジエは屋上の



床にすり鉢状の緩やかな傾斜をつけて集めた雨水を、建物内に通した配管に流すように設計しました。これにより、建物の外に配管が見えてしまうのを防ぐことができます。

ダクトカバーを良く見ていただくと、卵型をしているのが判ります。中は図1のようになっていて雨水のほか、ガスや排水のための管が入っています。大きな管は卵型の大きな所へ、小さな管は小さい所へ入っています。

このダクトカバーは1階、2階とバルコニーのある3階\*の同じ位置、東西南北の4箇所にあります。このうち1本だけに5本の配管が入っているため太くなっています。その他の3箇所は図2のように雨水配管のみのため、ダクトカバーも少し細くなっています。

どこにあるかは是非探してみてください。

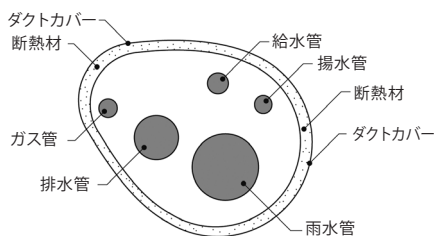


図1

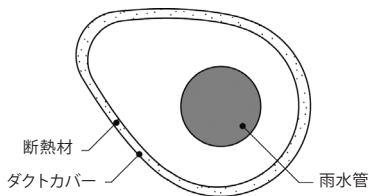


図2

\* 3階部分は非公開ですが、ダクトカバーは2階からご覧いただけます。

# EVENT イベント

## 美術館でクリスマス

美術館でクリスマスを楽しみましょう。様々なプログラムを用意してお待ちしています。

期日：2018年12月15日(土)・16日(日)



### ● ギャラリートーク

常設展示室の作品から数点を取り上げ、ボランティアスタッフが約30分間のトークを行います。内容は毎回異なります。

時間：① 12:00～12:30  
② 13:00～13:30  
③ 14:00～14:30

場所：常設展示室

※予約不要、参加無料。ただし、常設展観覧券が必要です。

### ● クリスマスキャロル・コンサート

クリスマスにちなんだ歌を集めたアカペラコンサートです。美術館に響くハーモニーをお楽しみください。

時間：① 11:00～11:40  
② 15:00～15:40

※曲目は2回とも同じです。

場所：本館ラウンジコーナー

※予約不要、参加無料。ご自由にお立ち寄りください。



### 作って飾ろうクリスマス とんがりツリー★おり紙オーナメント

ボランティアスタッフと一緒に小さなクリスマスツリーと、オーナメントを作りましょう。大人から子どもまで、どなたでも参加できます。

※ボランティアアート…当館のボランティアスタッフが企画する予約不要の立ち寄り式プログラムです。

時間：10:00～16:00

場所：新館2階ワークショップルーム(常設展内)

※予約不要、参加無料。ただし、常設展観覧券が必要です。

※材料がなくなり次第、終了します。



※イベントのタイトル・内容等は変更となる場合があります。

最新の情報は、国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル(03-5777-8600)にてご確認ください。

# Museum Shop ミュージアムショップ

新商品

## 『ダブルリングメモ』 『ブックマーク』

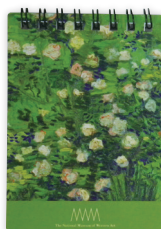
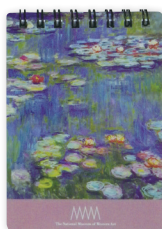
各2種類(睡蓮・ばら)

ダブルリングメモ  
A7サイズ、横罫

各410円(税込み)

ブックマーク  
約4×17cm

各230円(税込み)



モネの《睡蓮》とゴッホの《ばら》が表紙になったダブルリングのメモ帳です。胸ポケットや手のひらに収まる小さなサイズは持ち運びにも便利です。

同じ柄のブックマーク(しおり)のほか、ボールペン、シャープペンもご用意しています。絵画作品で机まわりを彩ってみませんか。

## Café カフェすいれん



### おすすめメニュー

#### ●海老名メロンパンデザートセット 『マロンクリームメロンパン』

(14時よりご注文いただけます)

ソフトドリンク付 980円(税込み)

メロンパンのアンダーソースには黒蜜、中にはマロン、かのこ豆を散りばめ、アイスとマロンクリームで仕上げました。

チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェすいれん)でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。)詳細については、当館ホームページをご覧ください。



# 展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2018年11月～2019年4月

休館日 土・祝日

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																			
NOV	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月																	
	ルーベンス展—バロックの誕生 10月16日(火)～2019年1月20日(日) (企画展示室) ローマの景観—そのイメージとメディアの変遷 10月16日(火)～2019年1月20日(日) (版画素描展示室)																																																	
DEC	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月												
	ルーベンス展—バロックの誕生 10月16日(火)～2019年1月20日(日) (企画展示室) 年末年始休館 12月28日(金)～1月1日(火・祝) ローマの景観—そのイメージとメディアの変遷 10月16日(火)～2019年1月20日(日) (版画素描展示室)																																																	
JAN	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月								
	ルーベンス展—バロックの誕生 10月16日(火)～2019年1月20日(日) (企画展示室) ローマの景観—そのイメージとメディアの変遷 10月16日(火)～2019年1月20日(日) (版画素描展示室)																																																	
FEB	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月				
	全館休館 1月21日(月)～2月18日(月) ル・コルビュジエ 絵画から建築—ヘービュリスムの時代 2月19日(火)～5月19日(日) (本館)																																																	
MAR	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月				
	国立西洋美術館 開館60周年記念 ル・コルビュジエ 絵画から建築—ヘービュリスムの時代 2月19日(火)～5月19日(日) (本館)																																																	
APR	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	国立西洋美術館 開館60周年記念 ル・コルビュジエ 絵画から建築—ヘービュリスムの時代 2月19日(火)～5月19日(日) (本館)																																																	

## ●臨時開館・年末年始休館・全館休館のお知らせ

- \*12月25日(火)は開館します。
- \*2018年12月28日(金)～2019年1月1日(火・祝)は年末年始休館となります。
- \*2019年1月21日(月)～2月18日(月)は館内整備のため全館休館します。
- \*2019年3月25日(月)、4月30日(火)は開館します。

## ●常設展示

ロダンやブールデルの彫刻と中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。  
(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

\*展覧会名、会期、展示内容等に変更されることがあります。

\*作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

## 国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分  
金曜・土曜日 午前9時30分～午後9時  
毎月最終金曜日は、午前9時30分～午後10時  
常設展開室時間…午前9時30分～午後5時30分  
金曜・土曜日 午前9時30分～午後8時  
毎月最終金曜日は、午前9時30分～午後9時  
企画展開室時間…午前9時30分～午後5時30分  
金曜・土曜日 午前9時30分～午後8時  
\*入室は閉室の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日ある日は振替休日となる場合は翌火曜日)  
\*その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600  
<http://www.nmwa.go.jp/>

\*誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまだまの花々を運ぶ春の風をさします。

# ZEPHYROS

ZEPHYROS 第77号

編集・発行 国立西洋美術館/2018年11月20日(年4回発行)  
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団  
印刷 (株)アイネット